

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

科目名 ドローン基礎

（ 2024年 3月 21日作成）

氏名 熊崎 康文

No.1

内容 （〇〇する 力がある） 事実、概念、 手続き、メタ認知	想起する	理解する	応用する	分析する	評価する	創造する
	（再認、再生）	解釈、例示、分類、 推論、比較、説明	実行、遂行	比較、組織 結果と原因	チェック、判断	生み出す、計画 できる、汎化
1. ドローンの概論	ドローンの利用 について説明で きる。	ドローンは社会の中 でどのような分野で 利用されているか説 明できる。 ドローンの安全な利 用にあたって、整備 された制度について 説明できる。		ドローンの活用 と制度整備の過 程について説明 しなさい。	ドローンは社会の中 ではより安全に利用 されるために制度整 備が行われたことと つなげて説明しなさい。	ドローンの良さや 利点を活用する方 法についてより深 く学び、そのスキ ルを身につけよう と計画できる。
2. ドローン（無人航空機）の 飛行の安全と知識要件	ドローンの利活 用の前提に飛行 の安全を確保す る必要があるこ とがわかる。	ドローンの有効利用 のためには、飛行の 安全を確保するた めの知識要件が必 要であると理解で きる。			無人航空機操縦者の 役割と責任、およ び)無人航空機の安 全な飛行を確保す るために、必要な飛行 計画・注意事項・事 故時の対応について 説明しなさい。	

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

3. ドローン（無人航空機）に関する規則 1		ドローン（無人航空機）の航空法における定義および、飛行に関する規則について理解できる。			無人航空機の航空法に関する諸規定および飛行に関する規則について説明しなさい。	
4. ドローン（無人航空機）に関する規則 2	航空機全般とドローンの運航ルールについて理解できる。	無人航空機の登録制度および特定飛行について理解できる		無人航空機の登録制度が必要な理由について説明できる。	航空機の運航ルール、および無人航空機の登録制度と特定飛行について説明しなさい。	
5. ドローン（無人航空機）に関する規則 3		無人航空機の操縦者等の義務および運航管理体制について理解できる。	無人航空機の操縦者等の義務を果たすことができる。			無人航空機の運航管理体制について計画できる。
6. ドローン（無人航空機）に関する規則 4	無人航空機操縦者技能制度が必要な理由を説明できる。			航空法以外の法令等についてどのような法令が関係するかを理解できる。	無人航空機操縦者技能制度について説明しなさい。	無人航空機の航空法以外の法令や諸規定がどのような場面で関係するかを汎化できる。
7. ドローン（無人航空機）のシステム 1		無人航空機（飛行機・ヘリコプター・マルチコプター）の		無人航空機（飛行機・ヘリコプター・マルチコプター）の機体	無人航空機（飛行機・ヘリコプター・マルチコプター）の機体の種類と特徴に	

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

		機体の種類と特徴について理解できる。		の種類と特徴について比較しながら理解できる。	について説明しなさい。	
ドローン（無人航空機）のシステム2	ドローンの様々な活用場面について想起できる。	無人航空機の飛行原理と飛行性能および機体の構成要素について理解できる。	無人航空機における夜間飛行・目視外飛行について、昼間飛行及び目視内飛行との違いについて理解できる。	無人航空機はその飛行方法の違いによって概念が異なることを理解できる。	無人航空機の飛行原理と飛行性能および機体の構成要素について説明できる。	
ドローン（無人航空機）のシステム3		無人航空機における電波・磁気方位・GNSSについて理解できる。	電動機（エンジン機）における整備・点検・保管・交換・廃棄について理解できる。	無人航空機の飛行には電波・磁気方位・GNSSについて、様々な状況について比較しなさい。	電波・磁気方位・GNSSなどの様々な状況に応じた無人航空機の飛行についてはんだんできる。	
ドローン（無人航空機）の操縦者及び運航体制		無人航空機の操縦者の行動規範・順守事項、操縦知識、必要なパフォーマンスについて理解できる。		無人航空機の操縦者に必要なパフォーマンスについて説明しなさい。	無人航空機の操縦者に必要な行動規範・順守事項、操縦知識について説明しなさい。	安全な運航のために必要な意志決定体制について汎化できる。

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

<p>運航上のリスク管理 1</p>		<p>無人航空機の飛行には気象条件の知識と理解が必要なことが理解できる。</p>	<p>様々な飛行場面における運航リスクの評価及び最適な運航の計画を立案しなさい。</p>	<p>気象の基礎知識及び気象情報を基にしたリスク評価及び運航の計画について比較検討できる。</p>	<p>運航リスクの評価及び最適な運航の計画の立案ができる。</p>
<p>運航上のリスク管理 2</p> <p>無人航空機操縦者技能証明の取得 学科試験の受験</p> <p>ドローンの利活用の具体</p>	<p>無人航空機操縦者技能証明 2 等の学科試験の取得方法を理解できる。</p> <p>ドローンの具体的な活用場面を想起できる。</p>	<p>無人航空機操縦者技能証明 2 等の学科試験の内容について理解できる。</p>	<p>飛行の方法に応じた運航リスクの評価及び最適な運航の計画の立案ができる</p> <p>無人航空機操縦者技能証明 2 等の学科試験の出題内容と回答形式について理解できる。</p> <p>ドローンの具体的な活用例について調査できる。</p>	<p>機体の種類に応じた運航リスクについて比較できる。</p> <p>ドローンの具体的な活用例を調査し、期待される成果と課題について考察できる。</p>	<p>機体の種類に応じた運航リスクの評価及び最適な運航の計画が立案できる。</p> <p>運航リスクに応じた最適な運航の計画が立案できる。</p> <p>無人航空機操縦者技能証明 2 等の学科試験を受験し、合格しなさい。</p> <p>ドローンの具体的な活用例について、調査内容をもとに、期待される成果と課題について説明しなさい。</p>

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

ドローンの可能性をふまえた 利活用方法	ドローンの機能 を生かした具体 的な利活用につ いて構想でき る。		ドローンの機能を 生かした具体的な 利活用について考 察できる。	ドローンの具体 的な利活用につ いてどのような 機能を生かせば よいか考察しな さい。		ドローンの機能を 生かした具体的な 利活用について提 案しなさい。
------------------------	---	--	---	--	--	--